

ALSO プロバイダーコース

～舞鶴共済病院～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。

1993年に American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家庭医学会)によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられています。また、ALSO コースは世界的に普及活動が行われ、現在までに 63 カ国で ALSO コースが行われています。

ALSO プロバイダーコースは 2 日間で行われ、コースの内容は e-learning での事前学習、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。コース終了時には筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）が含まれています。

ALSO は分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調しており、必須学習内容はマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血と、症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして（以下少人数グループによる実技トレーニングを含む）肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩後大出血、妊婦の心肺停止です。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、受講者は AAFP の認定する 3 年間有効の認証を受けることができます。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国 38 の都道府県でコースが開催され、12,191 名（2024 年 03 月 31 日時点）がコースを修了しています。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医そして、医学生です。

産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあり、日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO です。

この度、ご縁あって ALSO-Japan 代表の新井隆成先生にご協力いただき、ALSO プロバイダーコースを当院で初開催することとなりました。それぞれの地域での安心・安全なお産の提供、周産期医療の発展のために一緒に学びませんか。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

【開催要項】

日時：令和6年9月14日（土） 12：00～18：00 予定

令和6年9月15日（日） 8：30～18：00 予定

会場：国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 B棟4階 大会議室

参加費：40,000円

受講者数：24名予定

主催：国家公務員共済連合会 舞鶴共済病院

共催：NPO 法人周生期医療支援機構

【お問合せ】

ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください

〒625-8585 京都府舞鶴市字浜 1035 番地 TEL 0773 - 62 - 2510

舞鶴共済病院 ALSO 事務担当 産婦人科 坂野 須田